



瀬教労 市教委
2019年度市教委交渉 2019.11.20 市役所内

市教委交渉のまじり

11月20日に行なった市教委交渉のまじりの一部をお知らせします。

2. 教職員の健康・労働条件と児童・生徒の健康・安全について

(3) 多忙化解消プランを出し、長時間労働がなくなるようにすること。
以下のような内容に留意すること。
・学校閉庁日を設定すること。
・夏季休暇、年休を強要しないこと。
・平日の勤務時間外における電話の受信を控える時間帯を設定し、市教委が対応すること。

・平日の当面開錠を7時以降、施錠時刻を20時以前とすること。
【回答】多忙化解消については、学校行事・会議の精選など取り組んでまいります。今年度も夏休みに平日4日間の学校閉庁日を設定していくとともに、メッセージング電話の導入をしました。

※ 多忙化解消プランを作成中。校長会に通知を出したい。平日の会議削減、C4th、通知表は各学校で作成するものだが、所見は1・2学期なしの方向で検討中。来年度のティーチャーズアカデミーの分科会を無くす。

(6) 平日を含めて、時間外勤務の割振り簿を作成し、割り振りが適正に行われるようにすること。

【回答】勤務の割り振り変更がある場合は適切に行われていると把握しています。

※ 割振りのメモを少なくとも取るように指導する。各校の取組を校長会で交流するように要請した。勤務時前のプール管理について校長会の場で話をした。

(8) パワハラ防止に努め、「パワハラ防止指針」を毎年全員に配付すること。また、セクハラ・マタハラなどのハラスメントをなくすための研修や啓蒙活動を進めること。
【回答】パワハラ、マタハラについては、県の規定に準じます。働きやすい職場づくりについて指導をしていきます。これからのことは働きやすい職場づくりにとって重要事項ですので、管理職の会議でこれからの指導していきます。

※ 「〇ちゃん」などと職員を呼ぶ管理職について人権を尊重すべきであり12月校長会で必ず述べる。

(9) 全ての学校をカバーする産業医を置き、健康管理(精神疾患を含めて)を徹底し、退職まで心身ともに健康で働き続けられるように環境整備をする。

【回答】現段階ですべての学校に産業医を配属することとはできませんが、健康管理として平成29年度から、職員が50人未満の小規模校についても全職員に「ストレスチェック」を実施しています。また、専門医による健康相談も実施しています。今後も健康管理に十分、努めるための方法や環境整備を引き続き検討していきます。

※ ストレスチェック実施後の専門医による健康相談は、昨年若干名いた。個人情報保護と健康管理・学校運営という面での職員と管理職のコミュニケーションの大切さを確認した。

3. 教職員の働く環境と福利厚生について
(2) 職員トイレの数を増やし、温水洗浄機能がついた便座を全校に設置すること。

【回答】トイレ改修工事において、多目的トイレについては温水洗浄便座を設置していますが、各所は暖房便座の対応としております。

※ 東山小・水野中の体育館のトイレに洗浄便座を設置した。洗浄便座については把握していないが、各学校で設置は可能であると返答。

4. 憲法・教育基本法・子どもの権利条約に基づいた子どもの人権擁護の推進、開かれた学校づくり、子どもを取り巻く環境の改善について
(1) 「全国学習力調査」に参加しないこと。学校別の点数公開を行わないこと。また、小学3・4年生の基礎学力調査を中止すること。

【回答】「全国学習力調査」については、今後も実施していきます。学校別の点数は公開していません。基礎学力習得調査は今年中止した。

※ 今後C.R.Tに切り替えていく。4年生分の予算確保をした。

5. 学校の施設・設備について

(7) 全ての教室および体育館にエアコンを設置すること。設置できたところから使用できるようにすること。

【回答】今年度中に小中一貫校対象校を除く全校の普通教室に設置完了を目指して進めています。

※ エアコンの暖房使用に

については、校長への文書では使ってはダメと言っていない。ファンヒーターを主にエアコンは補助的に使用と伝えている。併用利用については必要や体育館については必要性は聞いているが決まっていなかった。近隣市町や県の動きを見て設置の計画をしていきたい。

(8) 全ての教職員に個人用のPCを貸与すること。

【回答】非常勤、及び再任用の先生には貸与できておりませんが、それ以外の教職員には貸与しております。

※ 非常勤講師は人数マイナスイ台、再任用は2人で1台のカウントをしている。貸与台数の調査をする。

6. 教職員の配置について

(3) 養護教諭が泊を伴う行事に参加の場合の人員を確保すること。

【回答】市独自の配置及びその他の人員確保は厳しい状況であります。予算確保に努めていきます。

※ 1つのアイデアとしてあげていく。

コメント

多忙化解消に向け、部活や会議の削減などいくつかの積極的対策が示された交渉であった。子どもたちの権利条約に基づいた開かれた学校、教職員の働く環境と教育権の擁護のために奮闘したい。



びの時間が減る。小学生が放課に外遊びができない。○跡地の活用も問題が出てきている。本山中の跡地に株式会社教育システムが参入し、一私立幼稚園と小学校「瀬戸国際LCA学園」を計画している。

羅列しただけでもこんなにたくさん出てきましたが、今からでも何とか変えられる、今とや、今後も関心を持つて見守っていかねければいけないことがあります。ご自分の居住地域の学校とは、地域連携教育でかわり、学校や子どもたちの様子を見守っていただくさい。

当面、来年1月26日（日）13時、祖母懐公民館で、市民集会を開催予定。ご近所の方を誘って、ぜひ参加してください。（原田 千育）